

平成29年度おもてなしのやまなし知事表彰 被表彰者

■県民表彰(個人の部)

番号	市町村名	個人名	活動の状況
1	甲州市	三森 哲也	市民有志による「勝沼フットパスの会」の設立・運営や、勝沼朝市において「まち案内処」を開設するなど運営に関わり、こうした活動を通じて地域の歴史や文化に関する豊富な知識を基に、地域の良さを積極的に広める活動を継続して実施している。 また、景観まちづくりのノウハウをもったリーダー育成のための「地域景観リーダー育成研修」の講師を務め、地域住民・事業者・NPO法人・行政職員の人材育成に寄与しているほか、日本フットパス協会監事、NPO法人勝沼文化研究所理事も務めるなど、山梨県の魅力づくりに大きく貢献している。

■県民表彰(団体の部)

番号	市町村名	団体名(代表者等)	活動の状況
1	甲府市	四菱まちづくり総合研究室 (代表: 榎野瑞生、顧問: 熊谷隆一) 所属学生: 延べ350人	甲府市中心街の活性化を目的に山梨県立大学国際政策学部熊谷ゼミの学生が中心に開設したまちづくり機関で今年度10周年を迎える。中心街の商店主へのヒアリング、研究者や行政、地元企業が参加する意見交換会の開催、飲食店のガイド本「甲府! おもてなしBOOK」を発行するなど、中心街活性化に向け多岐にわたる活動を継続している。 卒業後、地場産品を扱うメーカーや行政に就職したメンバーも多く、本活動で得た知識や経験を仕事に活かし地域貢献に努めている。
2	山梨市	甲州笛吹太鼓保存会 (会長 松永 和夫) 会員: 7名	旧三富村に古くから伝わる笛吹権三郎の話を伝えるため、太鼓・笛を中心とする独自の曲を作成し、伝承芸能として住民への普及と文化向上や観光資源にも役立てようと保存会を昭和57年に発足した。秩父市や川上村等においても様々な行事に出演し、郷土の魅力を発信する活動を長年にわたり行い、交流を深めている。また「信玄公祭り」や「笛吹川源流まつり」などの県内イベントでも演奏を行い、市内においては伝統文化を認識させ、市外においては山梨市三富地区をPRする活動となっている。
3	山梨市	山梨市ボランティア観光ガイドの会 (会長 詫間 仁) 会員: 25名	市観光指針目標「おもてなしの心をおみやげに」の実現に向けて会員が知識や経験を活かし、山梨市駅前観光案内所での観光案内を中心に「万葉うたまつりとホテル鑑賞会」でのホテルガイド、市内観光施設でのガイド案内などを行っている。隔月で定例会を開き、観光情報の交換・知識の共有を図っているほか、研修会を行い、より質の高いガイドが出来るよう努めるなど、市の魅力発信の最前線で活動をしている。 また、観光地の美化活動も行っている。
4	甲州市	甲州市立大和中学校 (校長 久保田 英樹)	武田勝頼公一族の歴史を後世に伝えるため昭和53年に「巫女の舞」を創作し、女子生徒により景德院の祭典に奉納された。昭和58年からは「信玄公まつり」に「巫女の舞」と男子生徒による「勝頼隊」が出演することになり、甲州市大和村の歴史をPRするとともに、県内外の観光客のおもてなしに貢献している。 近年は親子二代にわたって「巫女の舞」を踊る家庭もでてきており、地域の歴史を継承し、地域の絆を深める役割も果たしている。
5	甲州市	山梨むかしがたりの会 (代表 藤巻愛子) 会員: 35名	平成13年の設立から、民話を甲州弁で語り、多くの人に楽しんでもらいながら次世代に継承していく活動に取り組んでいる。 20代から80代の会員を4グループに分け、毎月1回の全体学習会とグループごとの学習会を行い、県内の図書館や公民館、福祉施設、学校、観光施設等で、月に十数回甲州弁の民話を語る活動を継続的に続けている。また、甲州弁の語りの魅力のレクチャーなどにも取り組むなど、伝統文化の継承となる活動を積極的に行っている。

平成29年度おもてなしのやまなし知事表彰 被表彰者

■県民表彰(団体の部)

番号	市町村名	団体名(代表者等)	活動の状況
6	富士川町	まほらの郷 鷹座巢 小林八幡太鼓 (代表 深沢 俊治)	小中学生・地域住人を対象に太鼓教室を行い、その成果を地域の祭りや町の行事などで観光客や地域の方々に披露している。曲は昭和20年代に青年団が祭りで打っていたという太鼓のリズムを取り入れて平成18年に創作し、小林八幡神社に奉納したもので、郷土の太鼓として地域に根付くことを願って地域の行事では子供達も参加して演奏をしている。多年にわたり地域の伝統ある太鼓を子ども達に伝え、外部に地域の魅力を発信する活動を続けている。
7	身延町	山梨県立身延高等学校 (校長 若林 毅文)	地域に根ざした総合学科高校としてキャリア教育の充実を図るとともに、山梨県立大学との連携を通して地域活性化策についての学習や研究に取り組んできた。その成果として身延町へ政策提言を行い「しだれ桜の里づくり事業」や多言語表記の看板設置、QRコードを利用した「どんぶり街道」のPR方法、身延まんじゅうを題材にした町のPR動画作成など、高校生目線による地域活性化策を具現化させており、観光客へのPRや地域観光資源の有効活用につながっている。
8	身延町	身延山・七面山修行 走実行委員会 (代表者 河井 淳) 会員:15名	「身延往還」を舞台にトレイルランを開催し、参加者(県外8割)への身延山までのアクセス案内や宿泊施設紹介、コースである参道の清掃活動、七面山ご神木と同じ素材を使ったプレスレットなど地域資源を利用した土産品づくりなどを行い、参加者に対し様々なおもてなしをしている。また、参加者家族向けにコース内の歴史ある場所をお坊さんの説明を受けながら歩く「御縁足」を実施しており、選手や関係者が、身延の雄大な自然と歴史、実行委員会の「おもてなしの心」に触れることで身延のファンになってもらう活動を行っている。
9	富士河口湖町	山梨県富士山世界遺産 ガイド会 (会長 渡辺 義広) 会員:55名	富士山の顕著な普遍的価値を来訪者にわかりやすく理解してもらうための研修を重ねている。平成27年には「富士山世界遺産ガイドの心得7ヶ条」を制定し、一人ひとりが質の高いおもてなしを行うことを意識してガイドを行っている。富士山世界遺産センターにおいて日本人のみならず、英語圏・中国語圏の観光客の方々に対しても「おもてなしの心」を大事にしたガイド活動を展開し、ガイドを受けた観光客からお礼の手紙が届くなど好評を得ている。
10	小菅村	小菅村立小菅小学校 (校長 青柳 俊雄)	村内に伝わる「大菩薩御光太鼓」を小学校の教育の一部に取り入れ、現在では小学校3年から6年の児童が練習を行っている。「多摩源流祭り」「すげのこまつり」「小菅村成人式」などの地元イベントや多摩川つながりで「狛江市すくすくコンサート」に出演し、県内外の人々に地域の伝統文化を披露するなど地域の伝統文化継承に大きく貢献している。

■事業者表彰

番号	団体名(代表者等)	活動の状況
1	山梨銘醸株式会社 (代表取締役社長 北原兵庫、 北杜市)	甲斐駒ヶ岳の伏流水と地元農家が栽培した酒米という地元素材にこだわった酒造りを行っている老舗の造酒屋である。 酒蔵開放や明治天皇がご宿泊なさった母屋「行在所(あんざいしょ)」拝観などを行い、来訪者に酒造りを身近に感じてもらうとともに、地域住民が主体となって開催する骨董市にも積極的に関わり台ヶ原宿の活性化に尽力している。また、尾白川クリーンキャンペーンへの参画、水の山プロジェクトのパートナー企業として地域資源の保全・啓発活動、ブランド推進に積極的に取り組むなど地域に根ざした様々な活動をしている。